

『^わ環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成17年11月11日	
		作成部署	土木建築部河川整備管理室	
事業名	菰川広域基幹河川改修事業	構想番号	(土・河)構17-1	
		地区名	亀岡市菰田野町佐伯	
概算事業費	約620百万円	事業期間	平成8年度～平成22年度(予定)	
事業概要	過去に浸水被害が発生しており、流下能力も低いことから、河川の護岸改修を行う。 L=500m			
関連する公共事業	◎施工地と同じ流域等で一体的に実施する関連公共事業などについて記述 湯ノ花温泉地域整備計画(亀岡市)			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
	主要な評価の視点			
地球環境・自然環境	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など </div>	現在の当該河川は、ブロックや石積みなどによる護岸構造であり、河川横断方向の自然の連続性が失われていることから、その回復を図る。	現地の土を使った緩やかな法面の土羽構造を採用し、ブロック等人工構造物を極力使用しないことで、自然植生の回復に配慮する。 また一部ブロックを積む区間においても空隙の多い材料を使うなど、小動物の生息空間の確保にも配慮を行う。	○
生活環境	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など </div>	事業実施に伴い掘削土砂が大量に発生することが見込まれるが、極力土砂の発生を抑制する。	掘削土砂については、築堤工事等に利用するとともに、隣接の畑等を嵩上げするなど、再利用による不要な残土の発生を抑制する。	△
地域個性・文化環境	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行事 地域住民との協働 など </div>	当該河川は、亀岡市西部を流れる河川であり、周辺には田園地帯が広がっているため、地域住民が親しみやすく、周囲の自然景観に合わせた河川環境を創出する。	緩やかな法面の土羽構造を採用することで、河川の親水性を確保するとともに、地域の自然植生の回復による河川景観の維持を行う。	○
地域の環境像	施行地周辺は亀岡有数の田園地帯であり、豊かな自然と美しい水田の景観に恵まれた府内でも有数の地域である。河川植生の連続性を回復することで、地域の自然の面的な広がりや自然景観を維持するとともに、地域住民の河川への親しみやすさを確保していく必要がある。			
特記事項	◎評価の結果を踏まえ特に留意すべき事項について記述			